



日産プリンス宮城「LEAF オーナーズボイス」Vol.7

リーフ+V2H導入で。

くらしが変わった。

日産リーフオーナーが語るEVライフの魅力

佐々木 さま。 日産プリンス宮城・石巻河南インター店担当

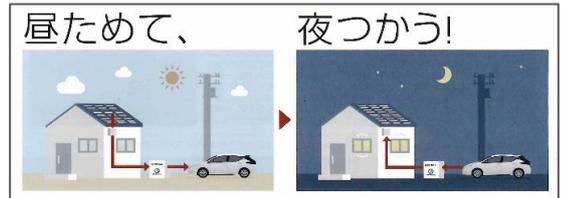
リーフの蓄電池としての能力に注目して購入を決めました。

卒FIT※を迎えた昨年、電気屋さんから家庭用蓄電池の設置を勧められていて、5kWh未満の最低の物でも約100万円の見積もりに高いな・・・と。リーフを家庭の蓄電池にすることを考え始めたのは、電気屋さんの蓄電池の説明会場で「リーフは大容量蓄電池なので良いよね」と言う話を耳にしてからでした。



走る蓄電池日産リーフ(EV)

EVパワーステーション(通称V2H)



昼ためて、

夜つかう!

※卒FIT=太陽光発電開始から10年の固定買取価格が終了。その後は売電価格が大幅に下がる。



佐々木 さま(遠田郡美里町在住)

《佐々木さまプロフィール》

- ・リーフ X-Vセレクション・40kWh
- ・ニチコン製EVパワーステーション(V2H)スタンダードモデル
- ・契約料金プラン「よりそうナイト8」
- ・電力アンペア数 50A
- ・オール電化住宅
- ・太陽光発電能力=最大3kWh
- ・電気使用状況: 奥様と2人暮らしなので平均より少ない。
- ・クルマの月平均走行距離 約400km

クルマと蓄電池、別々に買うよりお得！しかも大容量。

初めてEV(リーフ)へ乗りかえたきっかけは？

卒FITを迎えた事ですね。今まで年間15万円売電していたのがタダみたいな金額になるので「何とかしなきゃ」と。当時乗っていたクルマもちょうど10年になったので、だったら「蓄電池にもなるリーフを購入するか」と言うことになった訳です。今はリーフにして良かったと思っています。



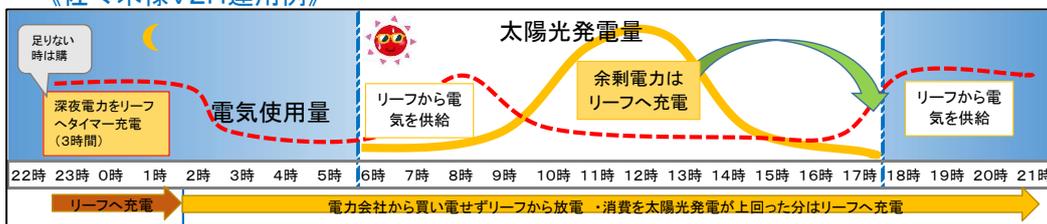
グリーンモードがお勧め

ここが変わった

リーフ+V2Hにして家の電気代は減りましたか？

まだ使い始めなので去年と比べてどうかは詳しく判らないですが、少しは減っているようですが、感覚的には変わりないかな。ただ今年は天気の悪い日が多いので発電が少ないですからね。ガソリン代が無くなって電気一本でこの金額と考えれば安いです。(R2年7月)

《佐々木様V2H運用例》



佐々木さまによると、V2Hを試行錯誤しながら使ってみてグリーンモードがお勧め！深夜4時間リーフへタイマー充電。朝6時以降は基本リーフから電気を放電。昼間の太陽光余剰電力はしっかり蓄電しています。

今なら、令和2年度CEV補助金40万円+外部給電能力有りで2万円=補助金合計42万円

サポカー補助金10万円(65歳以上対象)※令和3年3月末時点で65歳になっている方